

看護ゼミにゅーす 12月号

2014年12月19日看護ゼミ報告 (12/24ゼミ委員会発行)

演題「患者参加型看護計画から見た意思決定支援」 4西 神成さん



脳梗塞後のリハビリ目的で転院してこられたA氏。病気のことや今後の生活について尋ねると「わからない」と。A氏と家族に、理解度や病態に合わせた説明を意識的に繰り返すなかで、少しずつ話してくれるようになり、A氏は課題と向き合えるようになりました。「意思決定支援」と聞くと難しく捉えてしまいますが、丁寧な説明とケアのもと、患者さんの理解度を確し、患者さんからの情報発信を引き出し受け止める、看護の基本であることがわかりました。これからも患者参加型看護計画のすてきな展開に期待しています。

演題「タイミングを逃さない看護

外出により以前の認知機能に回復したA氏からの学び」 4東 前田さん

下肢の骨折で長期入院になったA氏。入院前はADL自立、インスリン注射・血糖測定も自分管理していましたが、それらはできなくなり、会話もつじつまが合わないことが多くなりました。「庭が気になる」という訴えから、ナースカンファレンスで外出が提案され、家族の協力を得て実行へ。当日は、看護師同行で外出し、庭のようすを見て、寿司を食べ、ソファで昼寝。そしてその夜からせん妄は見られなくなり、会話も成立するようになりました。A氏の認知機能の改善には、タイミングを逃さない看護の力が大きかったとまとめられていました。素敵な看護実践の報告でした。



報告「病院機能評価受審にむけて(2月19・20日)」

機能評価事務局 茂木師長・稲垣

まず「何のために受審する？」⇒「患者さんに喜んでもらえる病院づくりプロジェクト」のとりのくみの1つです。標準的な「医療・看護の質」が問われています。次に「看護部全体で取り組みたいこと」⇒「5S(ごえす)」「看護展開」「あいさつ」。ご協力よろしくお願ひします!



報告「新病院建設に向けて」建設委員会事務局 高橋師長

新病院は2016年5月開院予定。工事は順調に進行しています。図面はほぼ完成。現在は「電子カルテ」「セキュリティ」など各ワーキンググループが課題に取り組んでいます。今後は「どのように働くか」など運用を決めていきます。まずは「ここはこうなる!!検討集会」に参加しましょう!

参加者は45名 今回は患者参加型看護計画について深められた演題2つと、機能評価受審、新病院建設ともりだくさんの内容でした。建設については、今後もゼミの中で発信していく予定です。

次回の看護ゼミは1月16日(金)17~18時。演題発表は“付属診”と“5西”、学習は待望の“接遇”です。みなさんの参加お待ちしております!